



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
 コード番号 9994 URL <https://www.yamaya.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	122,870	△0.1	3,452	△26.3	3,511	△26.6	2,039	△30.5
2025年3月期第3四半期	123,031	△0.6	4,685	△10.5	4,782	△10.3	2,932	△3.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,996百万円 (△13.4%) 2025年3月期第3四半期 3,459百万円 (△5.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	188.08	—
2025年3月期第3四半期	270.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	71,185	39,538	52.1
2025年3月期	66,942	37,330	52.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 37,109百万円 2025年3月期 35,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2026年3月期	—	37.00	—		
2026年3月期（予想）				38.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当2円00銭（会社設立55周年記念配当）
 2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当3円00銭（会社設立55周年記念配当）

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,340	△0.5	3,400	△37.3	3,400	△38.9	1,960	△46.2	180.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	10,847,870株	2025年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	6,436株	2025年3月期	6,426株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	10,841,442株	2025年3月期3Q	10,841,475株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

[事業全般の概況]

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等により、緩やかな回復基調が続いているものの、継続する物価上昇による個人消費への影響や、不安定な国際情勢等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

2025年11月26日に、当社はおかげさまで会社設立55周年を迎えることができました。今後も創業の精神を忘れることなく、社会に貢献する企業として成長を続けてまいります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高が1,228億70百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益が34億52百万円(同26.3%減)、経常利益が35億11百万円(同26.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益が20億39百万円(同30.5%減)となりました。

当第3四半期に新規出店及び既存店の改装を進めたこともあり、売上高はほぼ前年並みの水準まで改善しました。

酒販事業では、昨年の大容量ウイスキー値上げ前のまとめ買いの反動、インバウンドの高額洋酒の販売が減少したことも影響して売上総利益が減少し、外食事業では、原材料価格の高騰と人件費など各種経費が増加したことが影響し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については減少しました。

当第3四半期連結会計期間末において、酒販事業356店(前年同期比2店増)、外食事業603店(同18店減)、グループ合計店舗数959店(同16店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は1,010億10百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は26億37百万円(同24.8%減)となりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、物価上昇が続く中、ワインの価格をお手頃な価格へ見直し、選ぶ愉しさを演出しつつ、「ワインフェア」を開催して好評をいただきました。設立55周年を記念したオリジナルキャンペーンも実施し、顧客満足度の向上と新規顧客の獲得に努めました。ダイソーを併設する大規模改装を4店舗実施し、韓国コスメやサプリメントの取り扱いを新たに開始するなど、利便性を高めることで新たな客層の獲得に注力したほか、インバウンド需要の獲得拡大にも努めました。また、やまや創業1号店の「塩釜店(宮城県)」を全面リニューアル改装し、「東北ふるさと館」と題したお土産コーナーを新設、贈答用需要の掘り起こしにも注力しました。年末商戦に向けては、年末年始が長期休暇となることや、クリスマスが平日であることから、売上最大化を目指し、需要のピークを想定した売場展開を行いました。ギフト需要に対しては、当社オリジナルギフトを豊富にご用意し、防災備蓄ギフトや、お米をギフトとして活用する新たな提案を行うなど、季節や社会情勢の変化に対応した売場演出と品揃えを強化しました。

新規出店として、南岩国店(山口県)、三条店(新潟県)、魚津店(富山県)、甲斐敷島店(山梨県)、松阪高町店(三重県)を開店し、福津店(福岡県)、梅津店(京都府)を閉店しました。これにより、2025年12月末における酒販事業の総店舗数は、356店(前年同期比2店増)となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は221億91百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益は8億9百万円(同30.9%減)となりました。

外食業界におきましては、回復基調が続いていますが、継続的な物価上昇による消費者の節約志向・選別志向は根強く、採算面では原材料費、光熱費、人件費、建築費の上昇もあり、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。このような状況の中、チムニー株式会社では、季節を体感できるフェアを継続して開催し、冬には「あったか旨鍋フェア」や、料理家とのコラボメニューでも「麻辣豚しゃぶ鍋」をご用意し、鍋を主役としてお楽しみいただきました。また、節約志向への対応として提供した「金賞受賞手羽先1本77円フェア」は、多くのお客様にご好評をいただきました。年末のご宴会に向けて「忘年会プレミアムプラン」をご用意し、ご予約状況は順調に推移しました。

株式会社つぼ八では、当第3四半期に新たに直営2店舗を新規開店し、「つぼ八仙台トラストシティ店」は、オフィスビルの立地を活かしてランチタイムに特化して営業しており、「つぼ八焼肉の達人サーモンパーク店」では、全席個室のレイアウトとし、居酒屋メニューと焼肉メニューの両方を同時にお楽しみいただいております。

店舗開発としましては、建設コスト上昇などの影響で当初計画を下回りましたが、直営店14店(チムニー10店、つぼ八4店)を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。

2025年12月末の外食事業直営店は、チムニーが321店、つぼ八が9店の計330店(前年同期比2店減)、外食FC店は、チムニーが142店、つぼ八が131店の計273店(同16店減)となり、2025年12月末における外食事業の総店舗数は、603店(同18店減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて42億43百万円(6.3%)増加し711億85百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が32億66百万円、売掛金が20億16百万円それぞれ増加、商品及び製品が25億35百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて29億27百万円(6.7%)増加し、466億88百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が8億67百万円、投資有価証券が3億26百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて13億15百万円(5.7%)増加し244億97百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて20億36百万円(6.9%)増加し、316億47百万円となりました。

流動負債は、買掛金が18億3百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて30億88百万円(13.7%)増加し256億10百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が13億44百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて10億52百万円(△14.8%)減少し60億37百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて22億7百万円(5.9%)増加し、395億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2025年10月14日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,588	15,855
売掛金	6,465	8,481
商品及び製品	22,535	20,000
仕掛品	68	64
原材料及び貯蔵品	34	35
前払費用	883	809
その他	1,381	1,589
貸倒引当金	△198	△147
流動資産合計	43,760	46,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,602	30,357
減価償却累計額	△24,292	△24,583
建物及び構築物(純額)	5,309	5,774
機械装置及び運搬具	1,625	1,634
減価償却累計額	△1,513	△1,533
機械装置及び運搬具(純額)	112	101
工具、器具及び備品	9,848	9,973
減価償却累計額	△9,085	△9,137
工具、器具及び備品(純額)	762	835
リース資産	1,738	1,886
減価償却累計額	△1,488	△1,507
リース資産(純額)	250	378
土地	4,618	4,819
建設仮勘定	15	26
有形固定資産合計	11,068	11,935
無形固定資産		
ソフトウェア	47	95
のれん	1,314	1,201
その他	16	16
無形固定資産合計	1,378	1,314
投資その他の資産		
投資有価証券	910	1,237
関係会社株式	1,043	1,492
破産更生債権等	66	61
長期前払費用	128	150
差入保証金	6,931	6,905
退職給付に係る資産	66	70
繰延税金資産	1,595	1,324
その他	55	64
貸倒引当金	△63	△58
投資その他の資産合計	10,735	11,247
固定資産合計	23,182	24,497
資産合計	66,942	71,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,525	15,328
短期借入金	3,100	2,700
1年内返済予定の長期借入金	467	1,467
リース債務	22	33
未払金	1,847	2,219
未払費用	949	1,102
未払法人税等	745	500
未払消費税等	420	789
預り金	251	412
賞与引当金	758	416
その他	433	639
流動負債合計	22,522	25,610
固定負債		
長期借入金	2,968	1,623
退職給付に係る負債	339	357
リース債務	249	380
役員退職慰労引当金	692	718
資産除去債務	1,560	1,610
繰延税金負債	—	41
その他	1,279	1,303
固定負債合計	7,089	6,037
負債合計	29,611	31,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	25,670	27,015
自己株式	△9	△9
株主資本合計	34,724	36,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	532	1,040
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	532	1,040
非支配株主持分	2,074	2,428
純資産合計	37,330	39,538
負債純資産合計	66,942	71,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	123,031	122,870
売上原価	87,100	87,709
売上総利益	35,930	35,160
販売費及び一般管理費	31,244	31,708
営業利益	4,685	3,452
営業外収益		
受取利息	4	16
受取配当金	26	33
受取手数料	59	57
持分法による投資利益	35	6
その他	85	47
営業外収益合計	211	162
営業外費用		
支払利息	58	65
店舗改装費用	33	25
店舗閉鎖損失	0	—
その他	21	11
営業外費用合計	114	102
経常利益	4,782	3,511
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取補償金	68	71
受取保険金	—	56
特別利益合計	68	128
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	5
減損損失	107	267
その他	43	31
特別損失合計	152	304
税金等調整前四半期純利益	4,697	3,335
法人税、住民税及び事業税	1,077	795
法人税等調整額	117	69
法人税等合計	1,195	865
四半期純利益	3,502	2,469
非支配株主に帰属する四半期純利益	569	430
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,932	2,039

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,502	2,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	526
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△42	526
四半期包括利益	3,459	2,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,917	2,547
非支配株主に係る四半期包括利益	542	448

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,956	22,075	123,031	—	123,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	260	—	260	△260	—
計	101,216	22,075	123,292	△260	123,031
セグメント利益	3,508	1,170	4,678	6	4,685

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において34百万円、「外食事業」において73百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,678	22,191	122,870	—	122,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	331	—	331	△331	—
計	101,010	22,191	123,201	△331	122,870
セグメント利益	2,637	809	3,446	5	3,452

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において139百万円、「外食事業」において127百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	790百万円	788百万円
のれんの償却額	112	112